

当社の生物多様性保全活動が 「あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス」を受賞

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、7月3日、愛知県の主催する「あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス*」を受賞しました。

当社は、地域・社会の持続的な発展を目指し、知多半島の地域の行政・NPO・企業等との連携を図りながら、生物多様性保全・自然共生活動に積極的に取り組んでいます。

その一例として、社有地の中新田緑地（愛知県東海市）にて2012年から取り組んでいる自然生態園の構築や、美浜町・東浦町における竹林整備や里山整備、長野県王滝村での愛知用木水源の森林整備などを継続して実施しています。

今後も、地域・社会と連携することで、知多半島から愛知県、さらにその先につながっていくような生物多様性保全活動に取り組み、いつまでもこの地にあり続けてほしいと思っただけの企業への年輪的成長を目指していきます。

※ あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス：

愛知県内においてCOP10以降に実施された、生物多様性の保全や、そこから得られる食料・資材・景観といった恵みを持続的に利用する取り組みについて、優れた事例を表彰するもの。100件程度が受賞するグッドプラクティスと、その中でも優れた10件程度が受賞するベストプラクティスがある。

（今回はグッドプラクティスが123件、ベストプラクティスが20件選出された）



中新田緑地における植樹活動の様子



地域の方との竹林整備の様子